

NHKスペシャル

G 毎週(日)夜9:00

NHKスペシャル

共有

いざ、“世界”と出会うダイナミック体験を。

概要

放送予定

配信

リリース

よくあるご質問

動画

過去のエピソード



NHKスペシャル

NHK 豪華メインキャストを発表!

Nスペドラマ「シミュレーション」メインビジュアル・題字&音楽、新キャストを発表!

公開: 2025年7月16日(水)午前6:00

更新: 2025年7月16日(水)午前6:00

**NHKスペシャルが終戦80年の夏に送る、“総力戦研究所”を舞台にした
実話に基づくドラマ「シミュレーション 昭和16年夏の敗戦」。**
8月16日（土）・17日（日）の2夜連続・午後9時から放送決定！

 NHKスペシャル「シミュレーション ～昭和16年夏の敗戦～」画像

猪瀬直樹のロングセラー・ノンフィクション「昭和16年夏の敗戦」を原案に、主人公・宇治田洋一（うじた・よういち）〈研究員〉役に池松壮亮を迎え、日本映画界の旗手・石井裕也監督が初めて戦争ドラマに挑む。

真珠湾攻撃の8か月前の1941年4月、国の指示の下、日本中から集められた若きエリートたち。模擬内閣を作り、出身官庁や企業から機密情報を集め、日本がアメリカと戦った場合のあらゆる可能性をシミュレートしていく。そして“圧倒的な敗北”の結論を手にした若者たちは、開戦へ突き進む軍や本物の内閣と対峙する！

■ 池松壮亮 〈既発表〉

 NHKスペシャル「シミュレーション ～昭和16年夏の敗戦～」画像

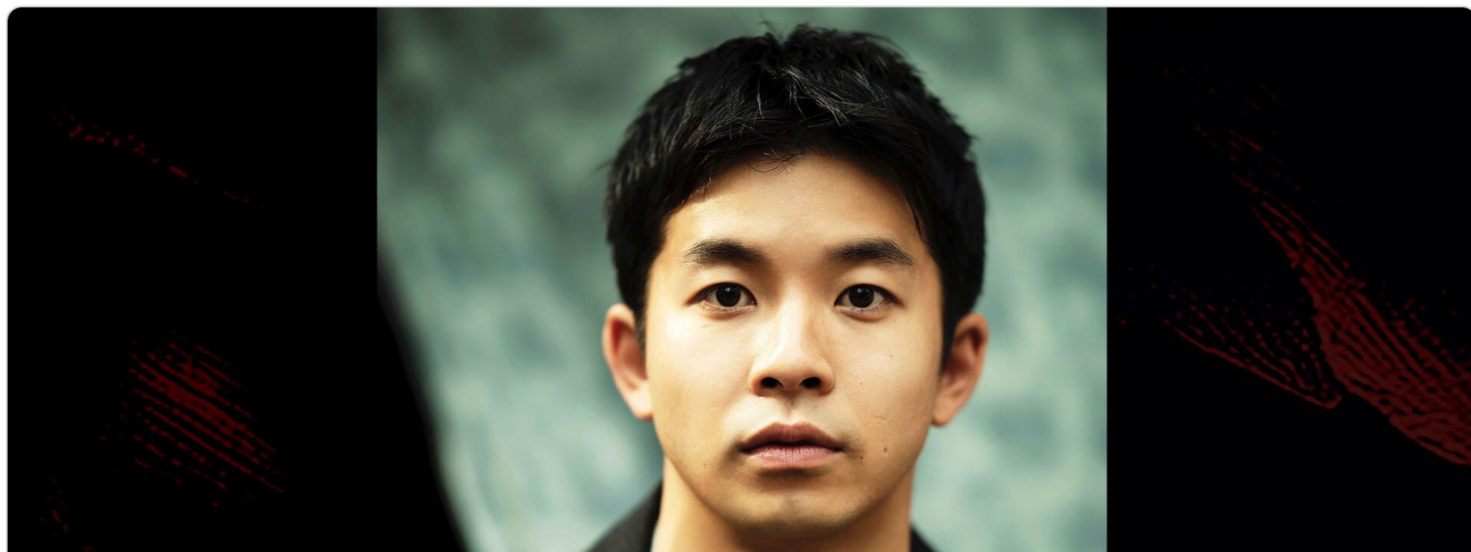
主人公・宇治田洋一（うじた・よういち） 役

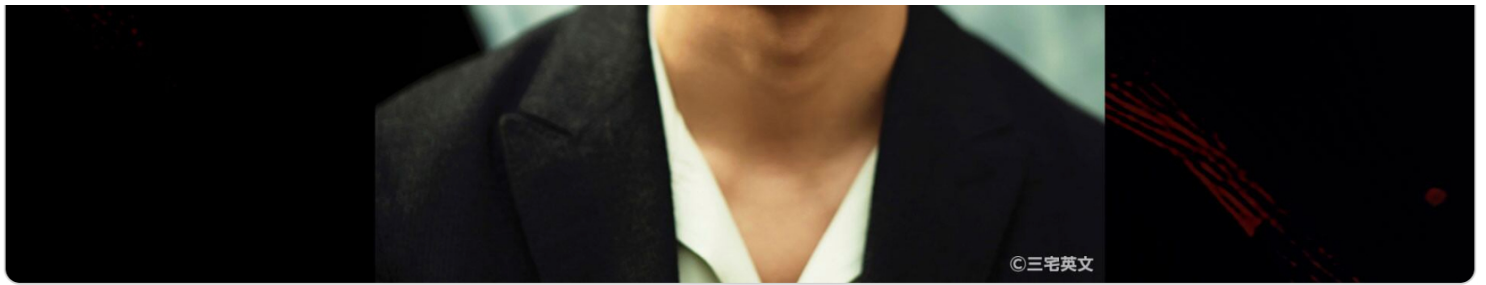
産業組合中央金庫（現・農林中金）調査課長。模擬内閣では「内閣総理大臣」に指名される。軍への反感からシミュレーションに消極的だったが、厳しい現実を知り「開戦を避けるべき」と動き出す。

豪華メインキャストの皆さんをご紹介します！

【総力戦研究所の研究員たち】

■ 仲野太賀





樺島茂雄（かばしま・しげお） 役

宇治田と同じ民間出身で、同盟通信社政治部記者。模擬内閣では「内閣書記官長兼情報局総裁」を担当。はじめは宇治田の消極的態度を批判的に見るが、次第に彼の苦悩を理解し、戦友のような絆を感じていく。

■ 岩田剛典



村井和正（むらい・かずまさ） 役

海軍少佐。海軍大学校を首席で卒業。模擬内閣では「海軍大臣」を担当。アメリカとの国力の差を前に、日本が誇る「無敵の連合艦隊」も燃料の不足から長期戦に耐えられないと冷静に判断。「勝てない」と意を決して訴える。

■ 中村 蒼

高城源一（たかしろ・げんいち） 役

陸軍少佐。模擬内閣では「陸軍大臣」を担当する。欧米列強に支配されるアジアで、いずれ植民地にされる前に日本は先に動くべきだと開戦を強硬に主張。だが宇治田の分析に驚がくし、現実を見定め始める。

■ 三浦貴大



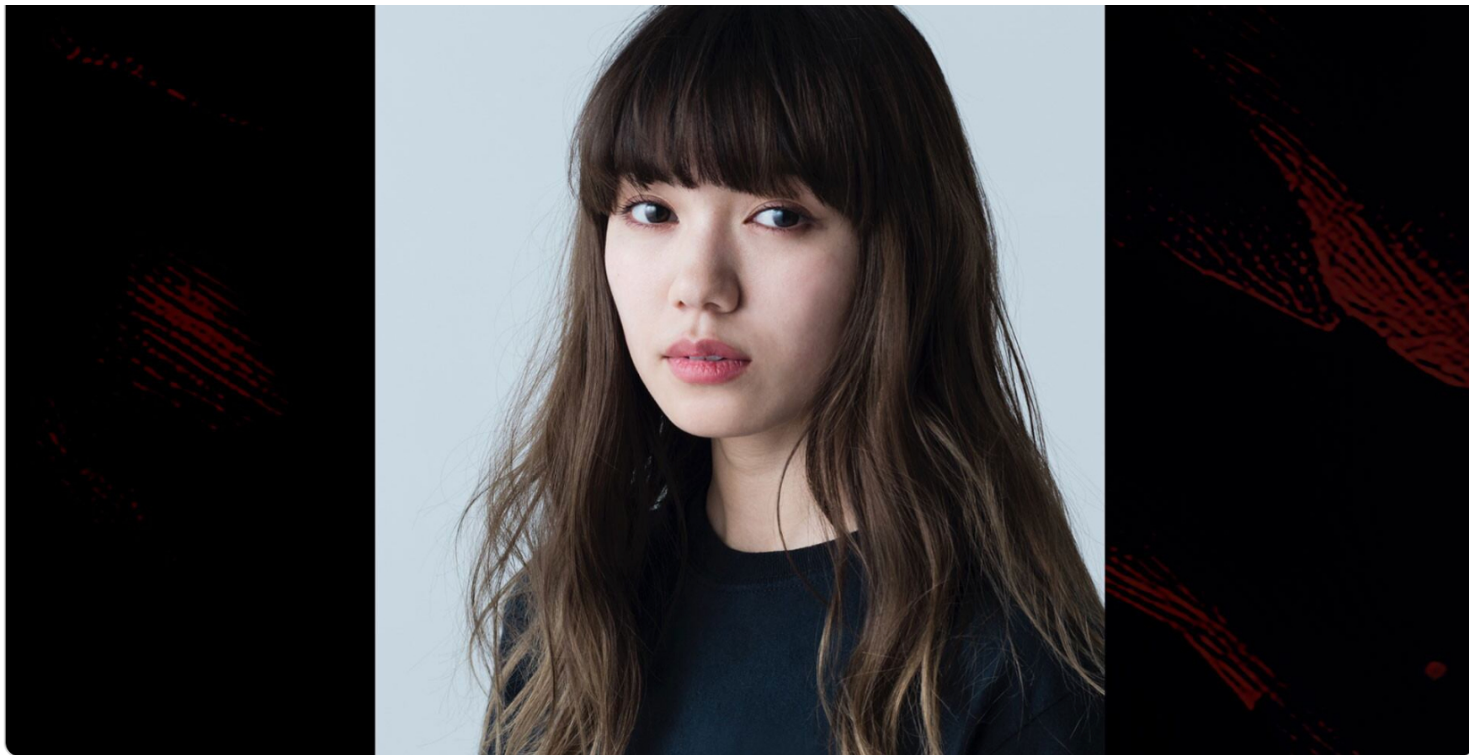
峯岸草一（みねぎし・そういち） 役

企画院物価局事務官。模擬内閣では「企画院総裁」。“金で世界は動く”が持論。日本が南方の石油を武力で確保しても、工業力に勝るアメリカと敵対し窮地に陥ると説く。軍ににらまれる危険を覚悟で発言する。

【宇治田の家族】

■ 二階堂ふみ





宇治田小百合（うじた・さゆり） 役

宇治田洋一の妹。夫は日中戦争で戦死した。娘の初子と実家に戻り、兄の洋一、弟の英二と4人で暮らす。両親は赴任した満州で軍と対立し謎の死を遂げた。以来、権力に抗する兄を、心配しつつ敬い支える。

■ 杉田雷麟

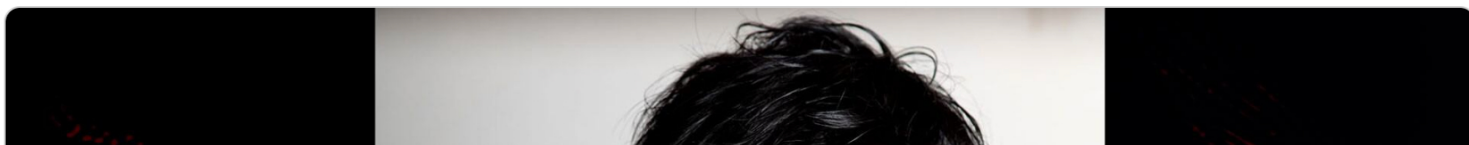
 NHKスペシャル「シミュレーション ～昭和16年夏の敗戦～」画像

宇治田英二（うじた・えいじ） 役

宇治田洋一と小百合の弟。作家志望で、兄とは異なり楽天的な性格。長らく経済的には兄に支えられてきたが、ようやく出版社への就職が決まった。その矢先、予想だになかった展開を迎える。

【宇治田の上司】

■ 別所哲也





井川忠雄（いかわ・ただお） 役

宇治田が勤める産業組合中央金庫の理事。戦争回避のため渡米して、和平交渉の土台作りに尽力する。近衛首相や陸軍首脳にも近く、総力戦研究所設立に伴い、頭脳明せきな宇治田を研究員に推薦した。

【内閣総理大臣】

■ 北村有起哉

 NHKスペシャル「シミュレーション ～昭和16年夏の敗戦～」画像

近衛文麿（このえ・ふみまろ） 役

近衛首相の直属機関として設立された総力戦研究所が開戦後をシミュレートする一方、近衛は首脳会談での和平交渉を模索。しかし、統帥部や世論を抑えきれず、昭和16年10月に総辞職し、政権を手放す。

【宮中】

■ 松田龍平



昭和天皇（しょうわてんのう） 役

日米開戦当時、40歳。日中戦争が泥沼化するなか、欧米列強も敵にまわす主戦論を憂慮し和平交渉による戦争回避を求めた。だが「南方資源獲得で日本有利」との東條新内閣の説得で最終的に開戦を容認する。

■ 奥田瑛二



木戸幸一（きど・こういち） 役

天皇最側近の内大臣として首相指名に影響力をもつ。近衛内閣が総辞職して皇族が首相候補になったとき、「万一最悪の事態になれば皇室が国民の恨みを買う」と反対して、代わりに東條英機を首相に推挙した。

【総力戦研究所・幹部】

■ 國村 隼



板倉大道（いたくら・だいどう） 役

陸軍少将。総力戦研究所の所長。若きエリートたちの頭脳をアメリカとの戦況予測に使うべく研究を開始させる。だが、軍上層部の思惑とは異なる研究結果が出始めると、自由な議論の“最大の壁”となっていく。

■ 佐藤隆太



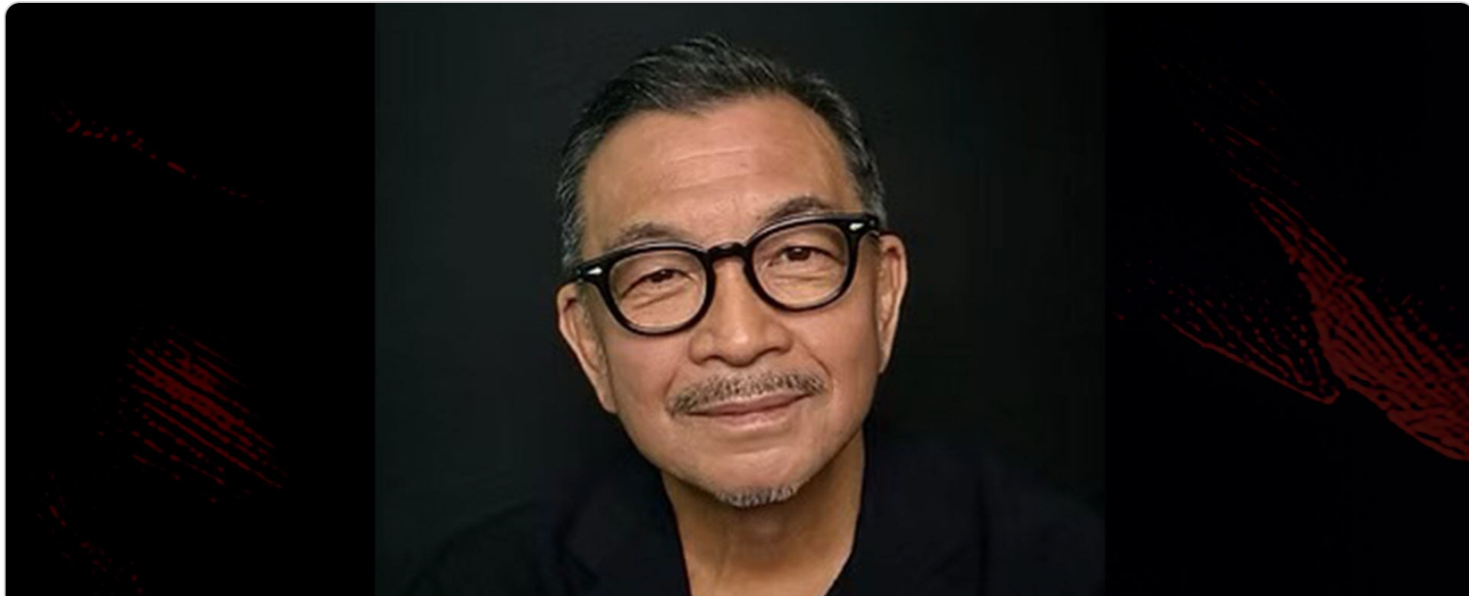


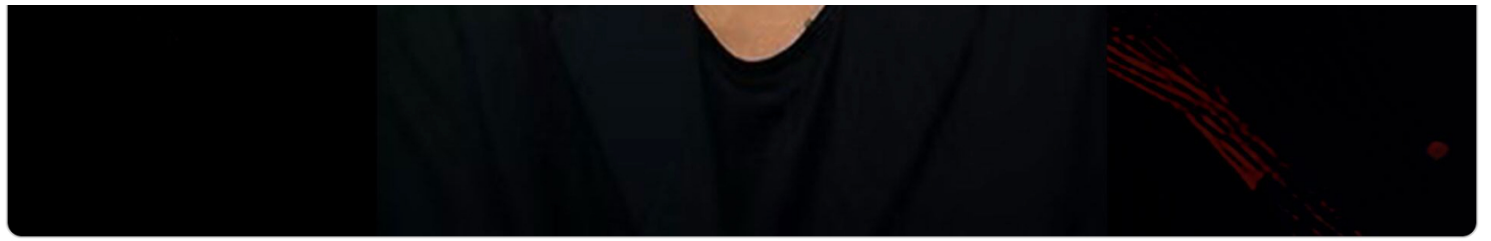
瀬古 明（せこ・あきら） 役

陸軍中佐。機密情報を駆使し戦況や内外情勢の近未来を予測する特殊研究を考案。上官の板倉や東條に忠誠を示し、模擬内閣に厳しく接する一方、懸命に国の未来を探る若者たちを、誰よりも深く理解して見守る。

【陸軍省・幹部】

■ 中野英雄





武藤 章（むとう・あきら） 役

陸軍少将。軍務局長として陸軍省の軍略・政略の実務責任者だった。国力差から対米戦争は不利と考えて、外交による和平交渉を支援した。しかし、陸軍内で勢いづく開戦強硬派との衝突は避けざるをえず…。

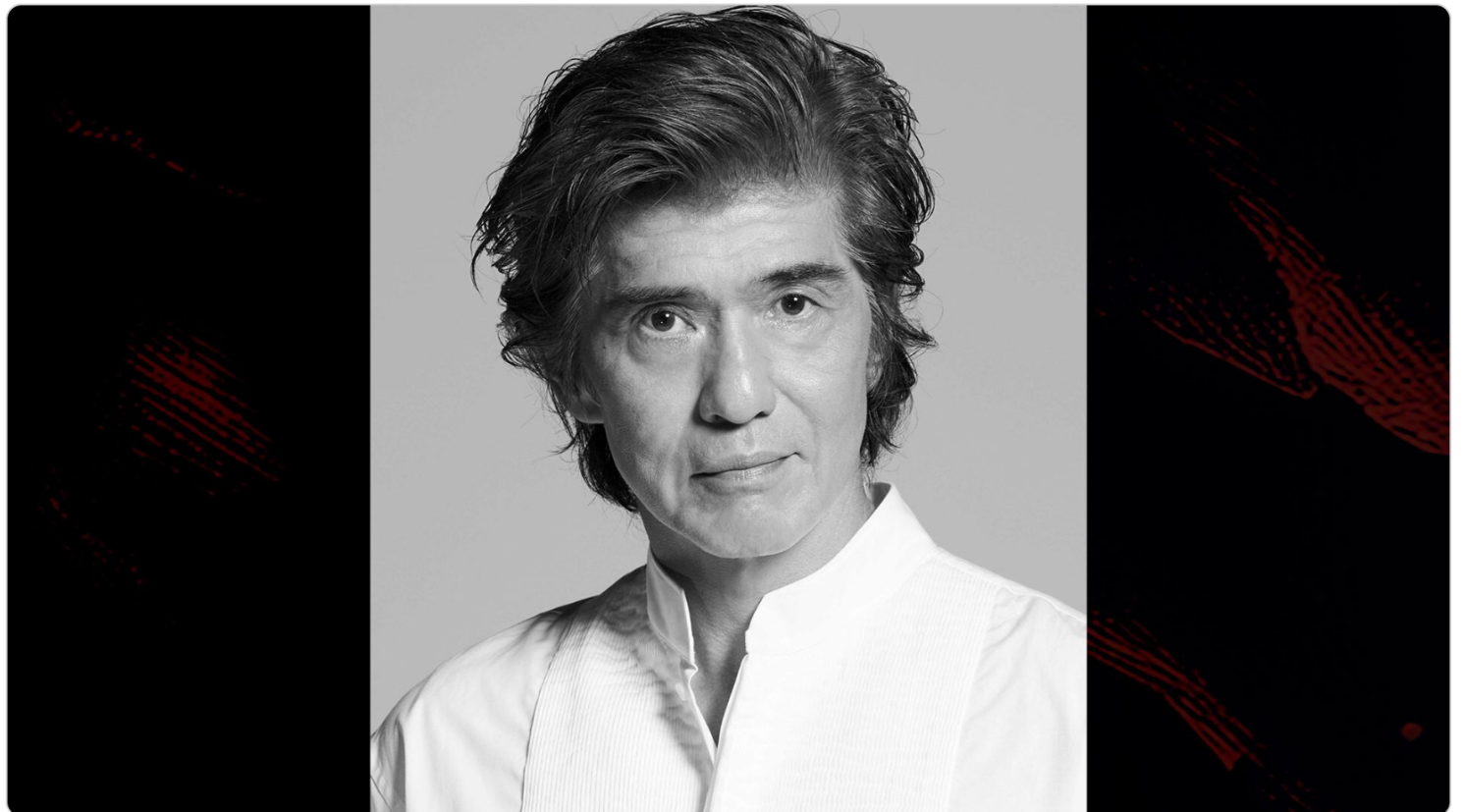
■ 江口洋介

 NHKスペシャル「シミュレーション ～昭和16年夏の敗戦～」画像

西村良穂（にしむら・よしほ） 役

陸軍中佐。陸軍省軍務局高級課員。総力戦研究所を作ったメンバーの一人であり、宇治田と内密に通ずる。次第に開戦に踏み切らざるをえなくなる東條の孤独に側近として寄り添いながらも、戦争回避を模索する。

■ 佐藤浩市



東條英機（とうじょう・ひでき） 役

陸軍大臣のち総理大臣。開戦強硬派だったが首相就任後は天皇の意向で和平交渉を模索。開戦を求めて激化する世論や軍部と、天皇への忠誠の狭間で苦悩する。誰よりもシミュレーションに関心をもっていたが…。

題字は、赤松陽構造さん！

若者たちの情熱とも、闘いの血ともとれる印象的な赤い筆文字の題字を、赤松陽構造さんが描いてくださいました。

 NHKスペシャル「シミュレーション ～昭和16年夏の敗戦～」画像

・ ----- ・

【赤松陽構造さんプロフィール】

1948年、東京都中野区生まれ。1966年、日本大学芸術学部映画学科入学。1969年、映画作品のタイトルデザインの仕事を始める。「ゆきゆきて、神軍」、「うなぎ」、「HANA-BI」、「美しい夏キリシマ」、「横道世之介」、大河ドラマ「八重の桜」、「64ロクヨン」、「ミッシング」、「港のひかり」ほか多数。第66回毎日映画コンクール特別賞受賞。平成24年度文化庁映画功労賞受賞。第40回日本アカデミー賞協会特別賞。

・ ----- ・

■ 赤松陽構造さんからのメッセージ

とても良質な反戦ドラマだと思います。

題字を書く時に心がけていることは、映像をイメージし自由な発想で書くように心がけています。

「シミュレーション」ではあの時代の閉塞感や若者たちの葛藤を想（おも）い、筆字でも書道の型にとらわれず、すり切れた筆を使って書きました。

このドラマは今の時代に共通する空気を感じました。今の若者たちにぜひ観てほしいです。

音楽を担当するのは、岩代太郎さん！

戦争への空気に抗おうとした若者たちの闘い、亡くなった方々への鎮魂を込めて、岩代さんが音楽を作ってくださいました。



・ ----- ・

【岩代太郎さんプロフィール】

これまでに「レッドクリフ」、「殺人の追憶」、「血と骨」、「新聞記者」、「月」、「首」などの映画音楽を手掛け、テレビでも、連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」ほか多数の映像音楽を手がけた。

・ ----- ・

■ 岩代太郎さんからのメッセージ

戦争を知らない世代の日本人として、この番組に参加出来たことを誇りに思います。

今回のサウンドトラックでは、「パッサカリア」という音楽技法を多用しました。

現在に至るまで、「戦争」から何も学べない人類に向けてのメッセージを、音楽的に表現する上で、最適な音楽コンセプトが「パッサカリア」だと撮影期間中に確信したからです。

どうか番組内でも耳を傾けていただければ幸いです。

- あらすじ -

昭和16年4月。平均年齢33才の、多くの若きトップエリートたちが緊急招集された。軍人・官僚・民間企業から選抜された彼らは、将来の日本のリーダーとなるべき人材を養成する目的で新設された総理大臣の直轄機関「総力

戦研究所」に参加することになったのだ。

その目的は、軍事・外交・経済などの各種データを基に、日米が開戦した場合の戦局を正確に予測し、そのシミュレーション結果を近衛文麿首相、東條英機陸相をはじめとする《本物の内閣》の面々を前に報告することだった。

当初、国や軍部の真意が分からず戸惑う宇治田らエリートたち。もしシミュレーションの結果が上層部の意に沿わないものだった場合、自分たちの身にも害が及ぶのではないか…。洋一や仲間たちはそれぞれが家族を抱える中、緊張にさらされ続ける。それでも、通常は国家機密である日本の国力を測るためのさまざまなデータにアクセスを許されるなど、宇治田たちはある種の興奮の中で、日米戦開戦後の戦局を占っていく。

侃々諤々（かんかんがくがく）の議論の末に《模擬内閣》の若き閣僚たちが導き出した最終結論は、「もしアメリカと戦えば、日本は必ず負ける」というあまりにも厳しい未来予測だった。エリートたちの理性は告げる。「この戦争は止めなければならない」と一。

シミュレーション結果を《本物の内閣》に報告する日が来た。《模擬内閣》の若者たちは、勇気を振り絞ってシミュレーションが導き出した“現実”を国の指導者たちに伝えようとする。

果たして、東條英機らの反応は一。そしてその後、宇治田たちが目の当たりにする“残酷な結末”とは一。

NHKスペシャル「シミュレーション ～昭和16年夏の敗戦～」

【放送予定】

前編 8月16日（土）〔総合〕 午後9:00～9:59

後編 8月17日（日）〔総合〕 午後9:00～9:59

【脚本・編集・演出】石井裕也

【原 案】猪瀬直樹「昭和16年夏の敗戦」（中央公論新社刊）

【音楽】岩代太郎

【題字】赤松陽構造

【出 演】

池松壮亮

仲野太賀、岩田剛典、中村 蒼、三浦貴大

二階堂ふみ、杉田雷麟

別所哲也、北村有起哉、中野英雄

松田龍平、奥田瑛二 /

國村 隼 /

佐藤隆太、江口洋介、佐藤浩市

【制作統括】

新垣 明（NHK） 安富圭史（NHKエフタープライブ）

初登場 (NHK)、永井拓郎 (NHKエンタープライズ、RIKIプロジェクト)

布川 均 (ポニーキャニオン)、橋本 櫻 (東京テアトル)、永井拓郎 (RIKIプロジェクト)

【制作】NHK、NHKエンタープライズ、RIKIプロジェクト

▼制作発表のページはこちら

関連リンク

 同時&見逃し配信！NHKプラス >

一覧へ戻る

>

NHK

NHKについて
ご意見・お問い合わせ

プライバシーセンター
プライバシーポリシー
NHK一般サイト プライバシーノータス
(パーソナルデータの取り扱い)

放送番組と著作権

NHKインターネットサービス利用規約

Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation). All rights reserved. 許可なく転載することを禁じます。このページは受信料で制作しています。